

## ICUD 2017 チェコ・プラハ旅行記

2018.6.27  
(株) NJS 榮 祐介

### ◆概要◆

2017年9月11日(月)～9月15日(金)にかけて、チェコ・プラハで開催された「International Conference on Urban Drainage 2017 (ICUD 2017: 国際都市排水会議)」に参加してきました。

ICUD は、気象学的、水文学的、水理学的、水質学的、社会経済的側面を考慮に入れて、都市排水に関する基礎的及び応用研究の最新の進歩と革新的アプローチを提示することを目的とした国際会議です。

日本からは、大学等の研究機関や企業に所属する研究者や技術者約 25 名が参加し、論文発表や意見交換会を通じて、親睦を深めました。

ちなみに、チェコ・プラハまでは、羽田ードイツ・ミュンヘンーチェコ・プラハと乗り継ぎ、約 13 時間の空の旅でした。

### ◆自己紹介◆

私は、2010年4月に日本上下水道設計株式会社(現:株式会社NJS)に入社し、下水道計画設計業務を中心に仕事をしています。

2013年4月からグループ会社に出向し、海外業務に2年間携わりました。主な渡航先は、バンラデシュ、パレスチナ、インドの3ヶ国でした。

2015年4月からまた国内に戻り仕事をしていたところ、海外業務に携わっていたことが功を奏してか、今回のチェコ・プラハでの学会発表のチャンスを得ました。

### ◆ICUD 2017◆

私は、「Development and Evaluation of ICT Operation Support System for Urban Flood Control Facilities (ICT を活用した浸水対策施設運用支援システム構築の検討と効果の試算)」という内容で発表しました。

発表前夜は、ホテルにこもって同僚に発表練習に付き合ってもらい、英語のアクセント、区切り、抑揚に注意しながらひたすら練習を重ねました。

練習の甲斐もあり、発表自体は、無事に時間内で終わることができました。

また、質疑応答では、イスラエル人技術者から『イスラエルでもこの技術を導入したい』という積極的な意見も頂きました。しかし、やはりネイティブスピーカーが話す英語は速く、質問内容を的確に聞き取ることができず、大変苦戦しました。



写真-1 ICUD 2017

### ◆プラハ観光◆

発表の合間を縫って、プラハ観光に出かけました。異文化に触れることができるのも海外出張の醍醐味だと思います。

宿泊していたホテルが観光地の中心にあったため、徒歩 20 分ほどでプラハ城に辿り着きました。プラハ城からの眺めは絶景で、夕日をバックにしたプラハ城も壮大でとても綺麗でした。

ちなみに、プラハ城内に設置されたマンホールは、雨水排除を目的としたせいか全面に穴が空いており、観光客の中には、コインを投げ入れる人もいました。



写真-2 プラハ城



写真-3 プラハ城内に設置されたマンホール(左)と市街地のマンホール(右)

また、市街地を探索していると、フォトジェニックな（今で言うところ、インスタ映え）レンガアートやチェコ名物のスイーツ（トルデルニーク）にも出会えました。



写真-4 インスタ映えするレンガアート(左)とチェコ名物のスイーツ・トルデルニーク(右)

◆最後に◆

チェコ・プラハで開催された ICUD 2017 に参加した際の旅行記として、きこう文を書かせて頂きました。これからも、技術力と語学力に磨きをかけ、またこういった機会に巡り会えるように精進していきたいと思えます。

ちなみに、今年は「IWA World Water Congress & Exhibition 2018」で発表することになりました（残念ながら、開催地は東京でしたが・・・笑）

以上



写真-5 プラハ土産